

児童発達支援自己評価表(職員)

アンケート実施期間:令和3年11月26日(金)～12月3日(金)

配布数:5 回答数:5

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	>法令に準じたスペースとなっている。 >活動内容やお子さんの様子に合わせてスペースをどのように使用するかを日頃から考え、工夫するよう努めている。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	1	0	>国の人員配置基準以上の人員配置とはなっていないが、年度途中の職員体制変更により、現場的には人手の足りなさを感じる。→人員確保を現在検討中である。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	0	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	0	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	0	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	5	0	0	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	0	>非公式ではあったが、第三者による外部評価を受け、業務改善に努めている。 >外部委託によるコンサルテーションを定期的に受け、業務改善に繋げている。
適切な支援の提供	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	>コロナで外に行く研修は減っているが、ST・心理・OTの月1回の訪問で、学べることが多い。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	>アセスメントツールの使用や、医療機関等が実施した発達検査の結果などを通して、定期的にあセスメントを行ない計画作成に活かしている。 >基本調査票や面談、日々の報告を通して保護者の方のニーズを把握するよう努め、計画に反映するよう努めている。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援が「ドライン」の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	0	>プログラムの立案から実行、評価、改善をさらにチームで取り組んで行けるよう、定期的なミーティングを現在検討中である。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	>取り組み状況から、必要な時期に内容を変更し、お子さんたちが興味を持って取り組めるよう工夫を行なっている。但し、発達段階によっては、内容が定着するまでに時間を要したり、固定化が安心感を与え、情緒の安定性に繋がったりなどから、敢えて固定化をすることもある。固定化を必要としなくなった際には、内容の変更を検討し、次のステップに進む対応を行なっている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	5	0	0	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	➢児童発達支援管理責任者と、グループ活動または個別活動の担当職員が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				➢該当施設では無いため、回答を行なわなかった。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				➢該当施設では無いため、回答を行なわなかった。
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	1	➢保育所や幼稚園、特別支援学校(幼稚園)への移行ケースがほぼ無いが、ケースがある場合には情報共有と相互理解を図って行けるよう努める。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	0	2	➢今年度より、4月に行なわれる特別支援学校の引継ぎ会に参加をし、情報の共有を行なった。 ➢特別支援学校以外の小学校とは情報共有の機会を得られていないが、少しずつ地域の学校との繋がりを作り、支援を繋いで行けるよう努めて行く。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	2	➢地域で相談が行なえたり、助言を受けられたりする専門機関が身近に無いため、連携以前の状態であるが、必要に応じて行政に相談をしたり、Kitosの外部講師より助言を受けたりなどは行なっている。 ➢市内の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、相談支援事業所、行政で構成された連絡会があり、定期的な会合を通して事業所間の連携を行なっている。
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	1	➢コロナでさんぽの行先の変更を余儀なくされている。 ➢日々の活動が決まっていることや、全利用児の利用回数が週1回となっていることなどから、定型児と活動する機会を定期的に設けることが難しい状況となっている。また、利用児全員に通園先があり、定型児と接する機会があることから、定型児との交流よりも施設内での療育を希望する保護者の方々が多いことなどの理由から機会を設けていないこともある。但し、12月のウインターワークでは、同法人に保育園があるため、園庭で遊ぶ機会を設け、交流ができるよう努めている。

保護者への説明責任等	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	0	0	➢市内の自立支援協議会児童支援部会の委員として参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	1	0	➢プログラムとしては行っていないが、報告の時間を通しながら、家庭内での対応方法やお子さんへの理解に繋げていけるよう進めている。 ➢合同報告の時間などを活用しながら、ミニクチャーやミニワークなどに取り組んで行けるよう現在検討中である。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	1	➢児童発達支援ガイドラインで示されているねらいや内容を前提として計画を作成し、面談を通して説明、同意を得ている。 ➢全職員に児童発達支援ガイドラインを配布し、児童発達支援事業所のねらいと目的を把握できるよう努めている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	0	➢共働き家庭が多く、家庭内の負担を避けるため、父母会を作ったり、保護者会を開催したりなどは行っていない。しかし、クラス単位で交流ができるよう、当初は月1回合同報告を予定していたが、コロナが落ち着いたため取り止めとなった。今後改めて検討して行く。 ➢保護者の方同士の直接の連携は無いが、他の保護者の方から意見やアドバイスを聞きたいとの申し出がある場合は、仲介を行なっている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	➢会報は作成していないが、年間スケジュールで組まれている予定は、紙媒体を通しながら連絡を行なっている。日々の必要な連絡については、報告時やメール、電話にて連絡を行なっている。お子さんに対しては、活動の変更がある場合は、グループ活動等を通して適宜伝えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	0	
	39	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	0	・施設の規模が非常に小さいため、地域住民を招待するような行事などは行っていないが、施設の建物全体が外からも中からも見えるような作りとなっており、地域に開かれた状態となっている。また、建物自体が、「地域に開かれた運営」をコンセプトに建てられている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	0	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等子どもの状況を確認しているか	5	0	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	・医師の指示書は取り寄せてはいないが、保護者の方を通して医師からの指示内容を共有している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	0	1	・身体拘束を行なうほどのケースが無いが、パニックからケルダウンをするために別室対応などを行なった際には、報告時に保護者の方に様子と対応を伝えており、記録も行なっている。また、活動からパニックが予想される場合には、事前に保護者の方に対応を伝え、了承を得ている。